

## 女性の骨盤臓器脱について

骨盤の内側には膀胱や子宮、直腸などの臓器があり、骨盤底筋と呼ばれるハンモック状の筋膜やじん帯などで支えられています。骨盤底筋が緩むことで支えきれなくなった臓器が膣から体の外にはみ出してくるのが骨盤臓器脱です。

一口に骨盤臓器脱と言っても、緩む場所によってはみ出す臓器も異なり、それぞれ子宮脱・膀胱瘤・直腸瘤などと呼ばれるほか、子宮を切除した場合に膣壁が出てくる膣断端脱などもあります。

骨盤底筋は出産の際に傷つきやすく、その後加齢とともに徐々に緩んでくるため、出産経験のある中高年の女性に非常に多い病気です。

また、重いものを運ぶ仕事や慢性的な咳のある方、肥満や便秘なども発症のリスクを高める要素と言われます。

症状としては、臓器のはみ出る程度によって、股の間に何かが挟まったような圧迫感や何かが下がっているような違和感に襲われます。

また、日中に立った状態で活動することで、徐々に臓器が押し下げられる結果、夕方から夜にかけて症状が悪化するという特徴もあります。

症状が進行しても、命に関わることはありません

よし だ  
泌尿器科 吉田 利之

が、外出を控えたり、旅行やスポーツを避けるといった日常の制約が大きくなり、生活の質(QOL)の低下につながります。

膀胱瘤の場合には、尿が出にくい、尿が近いといった排尿に関する症状が見られ、そのことで腎臓に負担がかかることがあるので注意が必要です。同様に直腸瘤の場合には、便が出にくい、残便感があるといった排便に関する症状を伴います。

治療法としては、症状の軽い方や手術を受けることが困難な方の場合、生活習慣の見直しや骨盤底筋体操、装具療法などの方法で改善が見込めますが、ある程度進行した方の場合には、手術を行うことになります。

手術には、子宮を摘出した上で膣壁の形成を行う方法や、医療用のメッシュを使用して骨盤底筋を補強する方法などがありますが、昨年からは、腹腔鏡を使用することで、患者さんの負担を少なくしながらメッシュで補強する手術法も保険の適用になりました。

デリケートな部分の問題ですが、治療によって生活の質の改善が期待できます。気になる症状のある方は、ぜひ一度泌尿器科を受診してみてください。